

## 北京在留邦人のネットワーク強化へ ～在北京都道府県人会等ネットワーク会議を開催しました～

北京事務所

2014年2月22日、在中国日本国大使館において、クレア主催により「第1回在北京都道府県人会等ネットワーク会議」を開催しました。これは北京で活動する各都道府県人会の幹事や世話役の方々が一堂に会するもので、初の試みとなります。

### 北京には多くの都道府県人会が存在

北京の在留邦人数は、現在登録上約 11,000 人です。日本人同士の交流の場として、各都道府県人会や大学の同窓会、スポーツや文化系のサークルなど、多種多様な組織が存在しています。北京市内で日本人向けに発行されている各種フリーペーパーを見ると、現在どのような組織が活動しているか概ね把握することができます。

その中でも、各都道府県人会は、規模の大きさや活動内容は様々であるものの、40 以上の会が組織されており、多くの方が入会しています。定期的に懇親会を開催している会が多く、異国の地で同郷の人同士で集まれる安心感とともに、年齢や業種を超えた様々な方との交流や情報交換ができることがメリットのようです。また、その都道府県に縁のある中国人が入会している会も多くあり、県人会は日中交流の側面も持ち合わせていると言えます。私たちクレア職員や、在北京自治体事務所の職員も、出身地や縁のある県人会へ入会しており、中には幹事や事務局として会の活動をサポートしている職員もいます。

一方、これまで県人会相互の交流はあまり活発ではなく、その機会もほとんどありませんでした。

### 各県人会の横断的なネットワーク構築の場として

クレアは各自治体から派遣された職員で構成されており、中国における自治体の様々な活動を支援しています。そこで、クレアと各都道府県人会、そして県会同士で有益な情報交換ができるのではないかという思いから、県人会等の横断的なネットワーク構築や様々な協働の可能性について意見交換ができる場として、この会議を企画しました。



開会前、挨拶や名刺交換をする参加者



会議の様子

会議には日本大使館広報文化部長の三上公使ら関係者のほか、26 都道府県の代表に出席いただきました。

クレア側から会議開催趣旨説明、最近の日中間の自治体交流の状況を紹介した後、出席者同士で意見交換を行ったところ、県人会ネットワーク構築について前向きな意見が数多くあがりました。

その結果、クレアがまとめ役となり県人会名簿を作成すること、情報発信メールサービスを行うことなどが決まり、この会議は緩やかな連絡組織として、日中の地域間交流に関する情報や県人会相互の情報交換の場として継続していくこととなりました。

## 日本人会の主催によるイベントも同時に開催

ネットワーク会議と同日、日本大使館大ホールにおいて、「第1回都道府県対抗歌合戦@北京」が開催されました。

この歌合戦は、北京日本人会を主体とする実行委員会が主催したものです。現在北京の在留邦人数は登録上は約 11,000 人ですが、日本人会の会員数は 1,200 人あまりです。近年会員数が減少する中、2013 年度の日本人会は、「在留邦人のプラットフォームとしての役割」を重視した活動を行ってきました。誰もが参加でき、在留邦人同士の連携が強化できるイベントを模索する中、北京で既に数多く存在し、それぞれの活動を行っている都道府県人会に着目し、これらのネットワークを強化することで日本人会の活性化を図ろうと都道府県対抗歌合戦が企画されました。日本の各地方自治体の窓口機関でもあるクレアにも協力依頼があったことから、所長以下職員数名が実行委員会に加わり、この一大イベントの実施に向け全面的に協力を行いました。

42 都道府県の代表が出場し、出場者は高い歌唱力、地元の名曲、北京駐在者の心情を描いた替え歌、地元の特産品などを用いたふるさと自慢などを披露し、多様なステージに観客からは歓声、どよめき、笑いが絶えず大変盛り上がりました。



「盛り上がったで賞」を受賞した佐賀県代表



家族で沖縄民謡を歌う沖縄県代表

## 各都道府県人会の垣根を超えた交流にクレアも協力

今回のネットワーク会議と歌合戦はどちらも初めての試みでしたが、参加者からは好評

で、定期的な開催を望む声もありました。これをきっかけに新たに県人会が創設されたり、より広域のブロック単位での県人会連合会へ発展したケースもあったようです。

国家間の緊張した状態や大気汚染など、北京在住の日本人を取り巻く環境は厳しいともいえます。このような状況の中、北京においてさまざまなフィールドで活躍する日本人が一堂に会し交流できたことは、息抜きをしながら新たな出会いによる情報交換もできる場となり、今後のさらなる活躍へ向けたきっかけになると思います。

クリア北京事務所としては、今後も在留邦人のネットワーク強化へ協力して行きたいと考えています。

(中川所長補佐 新潟県派遣)

